

道徳科学習指導案

令和元年11月6日（水）

第1学年

授業の視点

主人公や周りの友だちの気持ちを考えさせる場面において、ゲストティーチャーの話聞き、酸素ボンベや車椅子を体験したり、二段階の意見交換をしたりしたことは、不自由についての理解を深め、共にあきらめずに生きていこうとする実践意欲を育てることに有効であったか。

I 主題名

あきらめないで

内容項目 A-（5） 希望と勇気、努力と強い意志

【重要課題 ④障害のある人たち】

II 教材名 「希～光の中を歩んだ姉弟～」（出典 生品小学校「希」作成委員会）

III 主題設定の理由

1 ねらいとする道徳的価値について【価値観】

「希望と勇気、努力と強い意志」に関する内容項目は、低学年においては「自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。」とされている。この時期の児童は、何事も好奇心をもって行おうとし、やらなければならないことを素直に受け入れることが多い。また、興味・関心のあることについては、意欲的に取り組むものの、好き嫌いで物事を判断し、つらいことや苦しいことがあるとくじけてしまう傾向がある。

そこで、困難に直面しても頑張り抜く主人公の生き方や主人公を支える周囲の人々の励ましに触れさせることにより、自分の苦手なことや、できないことにも、あきらめずに最後までしっかりと取り組むことが、今後自分自身を高めていく上で大切なことや、困難に直面した時には、互いに支え合うことの大切さについても気付かせていきたい。

2 児童の実態【児童観】

（削除）

3 教材について【教材観】

本教材は、ある姉弟が病と闘いながらも力強く生き抜いた実話をもとに作られた「希～光の中を歩んだ姉弟～」という話である。弟の主人公は4才で「間質性肺炎」を発症し、小学校に入学すると、酸素吸入をしながら生活を送るようになる。歩けない時は車椅子を使い、息が苦しいときは酸素ボンベを使った。病気によって、体が思うように動かず、困難に直面する中でも、主人公は自分のできることをしっかりと果たそうと、勉強や仕事も最後まであきらめなかった。また、主人公のクラスの児童が車椅子を押したり、主人公を励ましたりするなど、主人公が周囲の人々の励ましによって前向きに頑張ろうとする姿も描かれている。本単元では、つらいことや苦しいことがあると、あきらめてしまいそうになる人間の弱さに共感しつつ、前向きに頑張ろうとする主人公の気持ちと主人公を支える人々の気持ちを考えることで、あきらめないことの大切さや、周囲の人々の励ましが自己の頑張りにつながることに気付くことができる教材である。また、この教材によって、不自由についての理解を深め、ノーマライゼーションの理念を身に付けさせたい。

IV 指導方針

1 事前

○学級の実態を把握するために、自分がやらなければならない勉強や仕事について具体的なアンケート調

査を行う。

○多種・多様な意見の交流ができるように、日頃から一人一人の意見を大切にし、どのような意見でも受け入れるような温かなクラスの雰囲気づくりに努める。

2 本時

○導入では、道徳的価値と自分の経験のずれに気付くことができるように、アンケートの結果を提示する。

○主人公の病状や様子について児童が理解できるように、希の資料は児童には配付せず、必要な資料（P 2・6・7）を場面絵を使って解説する。

○前半部分では、主人公の病気の大変さや不自由さに共感できるように、実際に車椅子や酸素ボンベを体験させる。

○中心発問では、最後まであきらめないことの大切さや周囲の人々と支え合うことの大切さについて多面的・多角的に考えることができるように、主人公や周囲の友だちの気持ちを考え、ペアと全体で意見交換の場を設ける。

○終末では、道徳的価値に対する考えを振り返り、今後につなげることができるように、「いままでは～、これからは～」の文で書けるようにワークシートを工夫する。

3 事後

○帰りの会のよいところさがしで、勉強や仕事に最後までしっかりと取り組んでいる友だちや人に親切にしている友だちを紹介する場を設け、児童同士が認め合えるようにする。

V 校内研修とのかかわり

本年度、本校は、「自他の思いや考えを大切にし、よりよい人間関係を育む児童の育成～主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を中心に～」という主題のもと、校内研修に取り組んでいる。主人公の気持ちや周囲の友だちの気持ちを考え、ペアや全体で意見を交流する。この活動を通して、相手の考えを認め、自分の考えを深めることは、お互いを理解し合い、よりよい人間関係を育むことにつながっていくと考える。

VI 人権教育とのかかわり

近年、障害のある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける社会「ノーマライゼーション」の理念を基本としたさまざまな施策が進められている。しかし、「人権擁護に関する世論調査」では、不当な扱いや差別的な言動をされたという回答が多く、障害者への人権侵害が深刻な問題となっている。

低学年段階では、障害のある人に対する偏見や差別をなくし、思いやりの態度をはぐくむために、障害のある人やその周囲の人々の立場にたった考えができるようになるための学習を取り入れる必要がある。

本単元では、病気によって体が不自由になった主人公や主人公を励ます友だちの気持ちを考えさせることで、支え合うことの大切さに気付かせることや、ペアや全体で意見交換をする場面で、自分の考えと相手の考えを比較し、互いのよさを見つけ合う場を設定することで、共感的関係を育成する支援をしていく。

VII 本時の学習

1 ねらい

主人公の生き方を通して、最後まであきらめずに努力しようとする実践意欲と態度を育てる。

2 準備

教師：「希～光の中を歩んだ姉弟～」、場面絵、ポイントカード、ワークシート、車いす、酸素ボンベ
児童：筆記用具

3 人権教育の視点

感性：主人公の頑張り抜いた生き方や主人公を励ました周囲の人々の気持ちに共感することで、互いに支え合うことの大切さについて気付くことができる。

実践力：自分のやるべき勉強や仕事を自覚し、これからの生活の中で自分のやらなければならないこと

があったとき、周囲の人に支えられていることを思い出し、最後まであきらめずに努力しようとする実践意欲と態度を育てる。

4 展開

過程	学習活動	発問と予想される児童の反応 ○基本発問 ◎中心発問 ☆補助発問	指導上の留意点 ★主体的・対話的で深い学びに関わる手立て
導入 5分	1 自分がやらなければならないことについて話し合う。	○自分がやらなければならない勉強や仕事は何ですか。 ・宿題、係の仕事、家のお手伝い ☆宿題や係の仕事をどうしてやらなければならないと思いますか。 ・自分や周りの人が困るから。 ☆どうしてやめてしまったり、あきらめてしまったりしたのですか。 ・めんどくさいから。 ・やりたくないから。 ・あきるから。	・ねらいとする価値の方向付けができるように、やらなければならないのに、途中であきらめてしまった経験とその理由を取り上げる。 (価値理解・自己理解) ・問題意識をもつことができるように、アンケートの結果を提示する。 (自己理解・他者理解)
テーマ さいごまで あきらめずに がんばること			
展開 30分	2 主人公についての話を聞き、主人公の気持ちを考える。 3 病気と闘っていたときの主人公の気持ちについて話し合う。	○病気のため、酸素ボンベや車いすが必要になってしまったとき、主人公はどんなことを考えていたのでしょうか。 ・苦しいな。 ・大変だな。 ・早く運動がしたいな。 ◎つらいことや苦しいことがあっても、頑張れたのはなぜでしょう。 ・運動がまたできるから。 ・強く頑張りたいと思っていたから。 ・友だちが励ましてくれたから。 ・友だちが応援してくれて自分も頑	・教師が主人公について紹介する。 ・ゲストティーチャーから主人公の病状やその時の様子についてお話していただく。 ・「肺炎」やその苦しさ、不自由さについて理解できるように、酸素ボンベ、車いすを体験させる。 ・つらいことや苦しいことがあると、くじけてしまいそうになる人間の弱さについて考えさせる。 (人間理解) ・ゲストティーチャーに主人公の頑張った様子と周囲の友だちとの関わりについて話していただくことによって、頑張り抜くためには、主人公の強い意志や、友だちとの助け合いがあったことに気付かせる。 ★自分のやらなければならないことはしっかりやろうとする主人公の気持ちを考え、ペアや全体で意見交流する。 ・個人→ペア→全体へと意見交流を広げることで、様々な意見に触れさせる。 (自己理解・他者理解)

<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。</p>	<p>張ろうと思ったから。</p> <p>☆主人公を励ましている周りの友だちはどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公の病気が治ってほしい。 ・主人公の力になりたい。 ・主人公と一緒に頑張りたいな。 <p>☆友だちに励まされた主人公はどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嬉しいな。 ・みんなが応援してくれるから頑張ろう。 <p>○最後まであきらめずに頑張るのはなぜ、大切なのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できないこともできるようになるから。 ・自分も友だちもよい気持ちになるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・強い意思や努力を継続するためには、周囲の人々との支え合いも大切であることに気付けるように、主人公を支える周囲の人々の気持ちや励ましをうけて頑張ろうとする主人公の気持ちに共感させる。 (人間理解) ・ゲストティーチャーから主人公のつらくてもあきらめずに頑張りを抜いた生き方についてお話をさせていただく。 ・最後まであきらめずに取り組むことが自分自身を高めていくことに気付けるようにする。 (自己理解・他者理解)
<p>終末10分 5 本時で学んだことをこれからの自分の生活にどうつなげていくか、考えをまとめ、意見交流する。</p>	<p>○今までの自分はどうか。これからはどうしていきたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まではすぐにあきらめてしまっていたけど、これからはあきらめずに頑張りたい。 ・今までは、あきらめていたけど、これからは勇気を出して頑張りたい。 ・今までは友だちに何も言えなかったけど、これからは励まし合っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的実践意欲を高めることができるように、いままでとこれからの生活についてワークシートにまとめる。 (自己理解) ・意図的指名(2～3人)により発表させ、学級全体で共有できるようにする。 (他者理解)

5 評価

- ・やらなければならないことを最後まで行うことの大切さについて、自分事として考えることができた。
- ・主人公や周囲の友だちの気持ちについて、ペアと全体で意見交換する場面で多面的・多角的に考えることができた。

(発言・ワークシート)

だい かい どうとく がっ にち

なまえ

テーマ さつごまで あきらめずに がんばること

のぞみくひかりのなかを あゆんだきょうだい

1 しゅじんこうが しづいとやめるいいことがあっても、 がんばれたのは なぜでしょう。

しゅじんこうのしやしん

2 やらなければならぬことがあったとき、

いままで



これから

- ・「きょうのテーマ」について、かんがえることができましたか。
- ・じぶんのことを ふりかえることができましたか。
- ・ともだちのかんがえを しっかりきくことができましたか。

- ()
- ()
- ()
- ◎
- ◎
- ◎
-
-
-
- △
- △
- △
-
-
-
- △
- △
- △